令和２年度　芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽Ⅲ　（教育出版）３０１						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱（合唱を含む）・器楽演奏・創作・鑑賞を柱に学習する。
・音楽Ⅲは音楽Ⅰ，Ⅱをふまえて、各々の選択者の目的に応じて、より音楽的内容を深めることを目標にしている。
・普通科・文系選択者の中から、選択して１年間（前・後期各 1.5 ユニットずつ）履修する。
・選択者へアンケートを実施し、生徒の状況及び実技レベル等により、適切に教材を選択する。
・音楽系進学希望者については、実技科目指導、聴音・楽典・ソルフェージュの指導も加えて行う。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して，生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに，感性を磨き，個性豊かな音楽の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：音楽への関心・意欲・態度	b：音楽表現の創意工夫	c：音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように演奏し、表現するかの意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、感受しながら、楽曲や演奏を解釈し、価値を考えたりして、理解を深め、よさや美しさを味わっている。
評価方法	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 提出物

上に示す観点に基づいて、a:40%、b・c・d：60%の割合で評価し、５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	歌唱	【独唱重唱】 発声法 独唱 二重唱 三重唱	○	○	○		a:歌曲に関心を持ちそれらの良さを理解しょうとしている。 b:曲の構成を理解し曲の雰囲気を感じ取り、表現を工夫している。 c:発声や外国語の発音の仕方に留意して、表現の向上を図っている。	観察 演奏の聴取
	器楽	【管楽器】 リコーダーコンソート 【弦楽器】 ギター、箏	○	○	○	○	a 自ら進んで様々な楽器に取り組み、互いに協力して音楽を作り上げている。 b:楽器の響きや特徴を生かして主体的に演奏している。 c:音量やフレーズを意識し調和のとれた合奏をしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、特質や雰囲気を感受しながら、音楽に対する理解を深め、美しさを感受している。	観察 演奏の聴取
	音楽教養	【音楽史】 【音楽理論】 【自由選択曲】 （各自の進路に適した曲）	○	○	○	○	a:曲の構成や背景について理解を深めようとしている。 b:曲の構成を理解し曲の雰囲気を感じ取り、表現を工夫している。 c:曲に使われているさまざまな楽器の演奏法を理解している。 d:様々な表現形態を理解し、響きや雰囲気の違いを感じ取っている。	観察 提出物
	鑑賞	【名曲鑑賞】 CD,DVD等による鑑賞	○			○	a:曲の背景について理解を深めようとしている。 d:作曲者や時代による表現の違いを理解しょうとしている。	観察 提出物
後期	選択発表	【独唱・奏】 【創作】 各自の進路に適した楽器（歌唱），創作等に取り組む	○	○	○	○	a:自ら進んで主体的に演奏に取り組もうとしている。 b:特徴や役割を理解し、主体的に表現している。 c:効果や表現方法を考えて、曲の雰囲気を作り出している。 d:様々な表現形態を理解し、響きや雰囲気の違いを感じ取っている。	観察 演奏の聴取

※ 表中の観点について a:音楽への関心・意欲・態度 b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, c, d の３観点で評価をする。

※ 履修年次を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。